



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日

上場会社名 平安レイサーサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2344 URL <http://www.heian-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相馬 秀行
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 平井 良也 (TEL) 0463-34-2771
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	7,510	5.4	1,487	7.9	1,557	6.9	1,061	14.6
28年3月期第3四半期	7,122	2.6	1,378	17.6	1,456	16.7	926	19.3

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 1,038百万円(11.7%) 28年3月期第3四半期 928百万円(17.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	80.83	—
28年3月期第3四半期	70.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	31,486	16,271	51.7
28年3月期	31,122	15,522	49.9

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 16,271百万円 28年3月期 15,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	10.00	—	11.00	21.00
29年3月期	—	11.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	12.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,966	4.0	1,895	4.5	1,990	3.2	1,305	8.5	99.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期3Q	14,667,000株	28年3月期	14,667,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,532,967株	28年3月期	1,532,967株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期3Q	13,134,033株	28年3月期3Q	13,134,033株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済の概況は、一部に弱さも見られるものの、個人消費は総じてみれば底堅い動きとなっており、雇用・所得環境の改善傾向が続く中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復に向かうことが期待されております。

このような環境下におきまして、当社グループは周辺売上増強、新商品・新サービスの商品化による収益源の確保に努めるとともに、コスト改善による利益率の維持向上に努めてまいりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

① 冠婚事業

当事業では、シャンデリアのように光り輝く「ウェディングシャンデリアケーキ フェリーチェ」を新商品として、各広告媒体におけるビジュアル面の強化を行うとともに、営業面ではインターネット媒体を中心とした、来館につなげるためのツールを拡充し、資料請求や来館者数の増加に努めてまいりました。

一方、教育面では、継続したフロントスタッフの新規対応・提案力強化の研修を実施し、営業力強化を図り婚礼成約率の向上に努めました。また、コルティエーレ茅ヶ崎においては、ネット系クチコミサイト「みんなのウェディング」2015年湘南・鎌倉エリアのレストランウェディングやホテル、結婚式場を含めた63店舗の中でクチコミランキング料理部門1位を獲得、ロイヤルマナーフォートベルジュールにおいては2016年海老名・厚木・小田原・箱根エリアのゲストハウス部門で総合1位を獲得するなど、外部評価を得られました。

その結果、当第3四半期連結累計期間においては資料請求や来館者、成約件数が前年同期に比べ増加となり、予約ベースでは大半が来期以降の施行となりました。当第3四半期連結累計期間においては、婚礼施行組数は減少、小規模化の影響もあり婚礼一組単価も減少、宴会件数は前年同期に比べ増加となり、売上高は302百万円（前年同期比18.5%減少）、営業利益は28百万円（前年同期比57.8%減少）となりました。

② 葬祭事業

当事業では、第2四半期連結会計年度に開業した、中小規模の葬儀にも対応可能な葬祭施設「湘和会堂寒川」（高座郡寒川町岡田）が順調に施行件数を伸ばしました。

商品面では、社内製作による参加型葬儀のオリジナル商品として、故人を中心として惜別する「追悼壇」、オブジェや装飾を生花と融合させた「追悼生花祭壇」、故人を生花で囲んで送る「花園」、あらゆる音楽ソースを忠実に再現できる「オリジナル大型スピーカー」による音楽葬の提案などを継続して行ってまいりました。

営業面では、引き続き各施設の認知度向上や生前相談者数の増加を図るため、オリジナル商品を中心とした提案型の施設見学会や内覧会を通じて営業活動を行いました。加えて、通常の葬祭イベントに比べ来館しやすい企画として、仏壇・墓地関連及び相続相談、フラワーアレンジメント教室などの終活をイメージした内容を盛り込んだ「メモリアルフェア」を開催し、集客及び周辺売上の増強に努めてまいりました。

また、インターネットを含む各種広告媒体を駆使して、より細やかな情報発信を定期的に行うなど、告知活動の強化にも努めてまいりました。

その中で、当第3四半期連結累計期間においては、当社主要エリアの死亡人口増加率は前年同期に比べ上昇し、シェア率も上昇したため、葬儀施行件数は増加となりました。また、葬儀一件単価は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、売上高は6,434百万円（前年同期比7.7%増加）、営業利益は1,941百万円（前年同期比10.2%増加）となりました。

③ 互助会事業

当事業では、継続して行っている既存会員への告知・利用促進活動により、互助会加入者総数に対する施行利用率が上昇いたしました。

その結果、売上高は187百万円（前年同期比1.2%増加）、営業利益は96百万円（前年同期比5.4%増加）となりました。

④ 介護事業

当事業では、売上高は770百万円（前年同期比0.3%減少）、経費面では教育研修や人員採用を含む、新規店舗の開業費用が発生したこともあり、営業利益は29百万円（前年同期比43.4%減少）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,510百万円（前年同期比5.4%増加）、営業利益は1,487百万円（前年同期比7.9%増加）、経常利益は1,557百万円（前年同期比6.9%増加）、保有株式の売却益を計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,061百万円（前年同期比14.6%増加）となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度末に比較して364百万円の増加となりました。流動資産では、現金及び預金が630百万円減少、有価証券が取得、振替等により301百万円の増加、固定資産では、その他に集計された建設仮勘定が159百万円増加いたしました。また、投資その他の資産では、投資有価証券が一部売却、流動資産への振替等により478百万円減少、供託金が930百万円増加しております。

負債合計では、前連結会計年度末に比較して384百万円の減少となりました。流動負債では、法人税等の納付により未払法人税等が260百万円減少いたしました。固定負債では、前払式特定取引前受金が186百万円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末と比較して749百万円の増加となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年1月31日に公表いたしました通期の業績予想から修正は行っておりません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手しております情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,515,832	9,885,160
売掛金	223,964	234,660
有価証券	400,279	701,905
商品及び製品	38,373	40,840
原材料及び貯蔵品	114,041	130,439
繰延税金資産	88,091	37,282
その他	100,100	132,777
貸倒引当金	△1,687	△2,419
流動資産合計	11,478,996	11,160,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,889,559	3,905,557
機械装置及び運搬具（純額）	96,607	142,041
工具、器具及び備品（純額）	143,130	137,536
土地	7,046,470	7,046,470
その他	43,806	203,801
有形固定資産合計	11,219,575	11,435,406
無形固定資産	29,699	31,233
投資その他の資産		
投資有価証券	634,582	156,005
長期貸付金	30,000	30,000
繰延税金資産	251,169	263,715
供託金	5,510,000	6,440,000
その他	1,968,545	1,969,772
投資その他の資産合計	8,394,297	8,859,493
固定資産合計	19,643,573	20,326,133
資産合計	31,122,569	31,486,780

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	216,645	224,546
未払法人税等	484,198	223,243
掛金解約手数料戻し損失引当金	5,519	5,385
その他	721,494	764,992
流動負債合計	1,427,858	1,218,168
固定負債		
繰延税金負債	36,930	39,303
役員退職慰労引当金	83,912	83,912
退職給付に係る負債	116,457	119,422
資産除去債務	113,717	120,896
前払式特定取引前受金	13,800,433	13,614,025
その他	20,624	19,360
固定負債合計	14,172,075	13,996,919
負債合計	15,599,933	15,215,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,518	785,518
資本剰余金	2,838,393	2,838,393
利益剰余金	12,540,688	13,313,357
自己株式	△670,468	△670,468
株主資本合計	15,494,131	16,266,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,504	4,892
その他の包括利益累計額合計	28,504	4,892
純資産合計	15,522,635	16,271,691
負債純資産合計	31,122,569	31,486,780

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	7,122,746	7,510,255
売上原価	4,841,272	5,074,637
売上総利益	2,281,474	2,435,617
販売費及び一般管理費	903,395	948,524
営業利益	1,378,079	1,487,092
営業外収益		
受取利息	7,762	3,958
受取配当金	2,293	2,371
掛金解約手数料	21,502	19,412
その他	53,540	50,032
営業外収益合計	85,098	75,776
営業外費用		
供託委託手数料	2,811	682
掛金解約手数料戻し損失引当金繰入額	1,020	3,144
保険解約損	1,313	545
その他	1,299	1,320
営業外費用合計	6,444	5,692
経常利益	1,456,733	1,557,176
特別利益		
投資有価証券売却益	-	64,050
特別利益合計	-	64,050
税金等調整前四半期純利益	1,456,733	1,621,227
法人税、住民税及び事業税	472,224	508,625
法人税等調整額	58,267	50,984
法人税等合計	530,492	559,609
四半期純利益	926,241	1,061,617
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	926,241	1,061,617

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	926,241	1,061,617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,645	△23,612
その他の包括利益合計	2,645	△23,612
四半期包括利益	928,886	1,038,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	928,886	1,038,005
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	370,619	5,974,056	28	772,837	7,117,541	5,205	7,122,746
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	185,350	-	185,350	-	185,350
計	370,619	5,974,056	185,379	772,837	7,302,892	5,205	7,308,097
セグメント利益	67,801	1,763,016	91,344	51,549	1,973,712	829	1,974,542

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,973,712
「その他」の区分の利益	829
全社費用(注)	△596,463
四半期連結損益計算書の営業利益	1,378,079

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	冠婚事業	葬祭事業	互助会事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	302,190	6,434,372	49	770,412	7,507,025	3,229	7,510,255
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	187,637	-	187,637	-	187,637
計	302,190	6,434,372	187,687	770,412	7,694,663	3,229	7,697,892
セグメント利益	28,585	1,941,989	96,253	29,194	2,096,022	711	2,096,734

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,096,022
「その他」の区分の利益	711
全社費用(注)	△609,641
四半期連結損益計算書の営業利益	1,487,092

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。